

日報作成基準（水道工事）（令和5年11月）改定比較表

現行（令和4年8月）		改定（令和5年11月）	
第1章 総則	第3節 日報（週報）の提出時期 日報（週報）は、完成図作成の基礎資料となるので、工事進捗状況を正確に把握して作成し、施工の翌日（翌週）提出するものとする。 なお、提出部数は1部（2部）とする。ただし当局監督員が提出部数の増加を指示した場合には、その指示に従うこと。	第3節 日報（週報）の提出時期 日報（週報）は、完成図作成の基礎資料となるので、工事進捗状況を正確に把握して作成し、施工の翌日（翌週）提出するものとする。 なお、提出部数は1部とする。ただし当局監督員が提出部数の増加を指示した場合には、その指示に従うこと。	

日報作成基準

(水道工事)

令和5年 11月

名古屋市上下水道局

目 次

第1章 総 則	
第1節 適 用	1
第2節 日報及び週報の様式	1
第3節 日報（週報）の提出時期	1
第2章 日報作成細則	
第1節 日報表紙	1
第2節 日報記事欄の記入方法	2
第3節 工事個所図の作成	5
第4節 施工図の記入方法	5
第5節 残置物件の記入	8
第6節 受注者名の表示	8
第3章 週報作成細則	
第1節 記入方法	8
第2節 その他	8
第4章 資 料	
第1節 工事日報作成の異形管延長	9
第2節 工事日報作成用継手材料	16
記 載 例	
日報記載例	18
週報記載例	20

第1章 総 則

第1節 適 用

- 1 本基準は、導水管、送水管、配水管、小口径配水管、道路取付管並びに浄水場等の構造物の新設、増改造又は廃止（撤去、残置）工事で受注者が土木工事共通仕様書に基づき、上下水道局に提出する工事日報（工事週報）の作成基準を定めるものである。
- 2 工事日報とは、工事期間内における施工状況を記載したもので、その期間が1日であるものを日報という。
- 3 工事週報とは、工事期間内における施工状況を記載したもので、その期間が日曜から始まる一週間であるものを週報といい、大口径配水管工事（呼び径 500 mm 以上）、又は構造物築造工事等については、日報に代えて、週報を作成する。ただし、当局監督員が指示する場合はこの限りではない。
- 4 この基準に定めのない作図一般記号等の使用については、「完成図作成基準」第5章 配管記号及びその他関係規格規定によるものとする。

第2節 日報及び週報の様式

- 1 日報及び週報の様式は、巻末の記載例の通りとする。
- 2 日報及び週報用紙は、当該受注者が製作するものとする。

第3節 日報（週報）の提出時期

日報（週報）は、完成図作成の基礎資料となるので、工事進捗状況を正確に把握して作成し、施工の翌日（翌週）提出するものとする。

なお、提出部数は1部とする。ただし当局監督員が提出部数の増加を指示した場合には、その指示に従うこと。

第2章 日報作成細則

第1節 日報表紙

日報には、つぎの事項を記載した表紙を添付すること。

工事期間	契約番号
件 名	
受注者名	

なお、表紙の裏面には、次に定める配水管工事箇所図を表示するものとする。
 ※工事路線全体を記入した図面を用い、施工図の平面的位置を示す対照番号を記入し、工事施工箇所が明確に把握できるようにする。

第2節 日報記事欄の記入方法

1 標題欄

- (1) No. 一設計書毎に1番からの通し番号を記入する。
- (2) 設計番号 当局が示したものによる。
- (3) 年月日 施工年月日を記入する。
- (4) 天候 施工当日の天候を記入する。

※ 標題欄記入例は巻末記載例を参照

2 使用材料、及び撤去・残置内訳明細欄

- (1) 当日に使用した管類、附属具類、その他主要材料類の名称、形状寸法、単位、数量等を記入する。
- (2) 記入順序は、直管類、異形管類、附属具類、その他主要材料を形状寸法の大きいものからとする。
- (3) 支給材料については、摘要欄にその旨それぞれ表示するものとする。
- (4) 管類を切断して使用した場合には、残管との関係を明確にするため、次のように表示する。

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
DGXE 乙切管	400×3.5	本	1	① 直切 残甲 2.5
DGXE 乙切管	100×1.0	本	1	② 直切 残甲 3.0
DGXE 甲切管	100×2.3	本	1	② 使用 残乙 0.7

DGXE 乙切管を DKE 切管として取り扱った場合。

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
DGXE 甲切管	400×1.5	本	1	① 使用 残乙 1.0
DGXE 乙切管	400×1.0	本	1	① 使用 (K形) 残 0

- (5) 布設管及び撤去管・残置管の延長は、m単位で小数第1位まで表示する。この場合布設管は小数第2位を切上げて、撤去管・残置管は小数第2位を切捨てて表示する。
- (6) 管種（材質、継手、塗覆装も含む）については、「完成図作成基準」第5章配管記号による管種等、表示記号によって、次のように記入する。

区 分	材 質	継 手	塗 覆 装		名 称
			内 面	外 面	
直 管	ダクタイル	K 形	モルタル ライニング		DKL 直 管
T字管	〃	GX 形	エポキシ樹脂 粉 体 塗 装		DGXE T字管

(7) 道路取付管分岐の記入

- 1) 分岐件数は、名称・形状寸法欄に道路取付管分岐工、呼び径、タイプをそれぞれ記入する。
- 2) ポリエチレン管の布設延長は、名称・形状寸法欄にP P 布設工、呼び径をそれぞれ記入する。

(8) 欄が不足する場合には、必要に応じ別紙を用いる。

この場合、番号に枝番を付けて記入する。

3 出来高欄

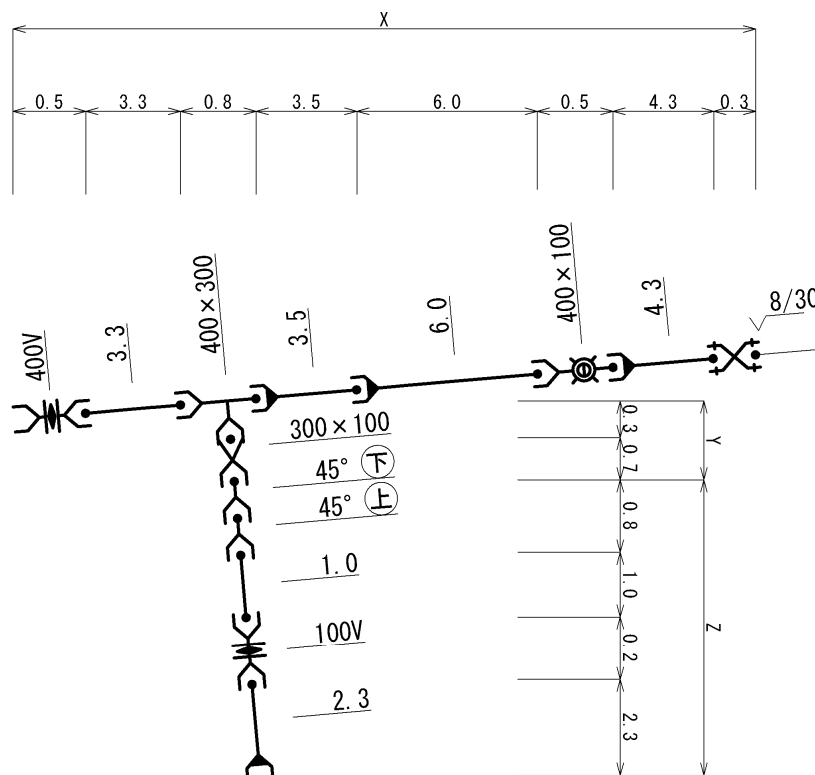
(1) 継 手

当日施工分の継手数（新設、撤去）は、呼び径別、継手形式別に記入する。

(2) 延 長

- 1) 布設管、撤去管、残置管の延長出来高は、呼び径ごとに前日までに累計に当日分の出来高を加算する。
- 2) 記入順序は、呼び径の大きいものからとする。
- 3) 仕切弁・バタフライ弁本体の長さ、継ぎ輪の標準胴付寸法は、延長に算入する。
- 4) 片落管の長さについては、呼び径の大きい管の延長に含める。
- 5) 割T字管を用いて鋳鉄管の分岐を行った場合、当該分岐部延長は、本管部の管芯から作業弁までの延長および免震部材がある場合は免震部材の延長を含めたものを計上する。延長はm単位で、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示する。
- 6) 各種材料の長さ、及び継手材料の数量は、巻末の「4. 資料」を参照する。
- 7) 出来高の算出方法については、次のとおりとする。

出来形計算例



(a) 当 日

400 mm (Xで表示した部分の総計) $0.5+3.3+0.8+3.5+6.0+0.5+4.3+0.3$
 $=19.2$ (m)

300 mm (Y ") $0.7+0.3=1.0$ (m)

100 mm (Z ") $0.8+1.0+0.2+2.3=4.3$ (m)

(b) 累 計

前日累計+当日=累計

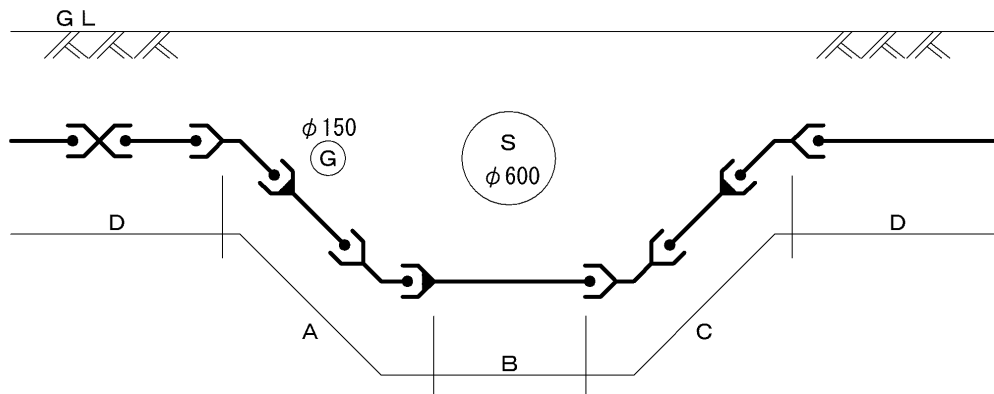
前日までの累計が 400 mm、56.5mとした場合の累計延長は

400 mm $56.5+19.2=75.7$ (m)

300 mm = 1.0 (m)

100 mm = 4.3 (m)

(c) 管路を垂直方向に埋設した場合の延長は、管路実延長で計算する。
 伏せ越し部分の計算方法



A及びC……「4. 資料」の曲管換算長の合計+直管長

B及びD……「4. 資料」の継ぎ輪の標準胴付寸法+直管長の合計

(d) 継ぎ手が混在する管の施行延長の計上方法について

受口・挿口・管厚を問わず、以下の優先順位に基づき施行延長を計上する継手種別を決定する。

優先順位

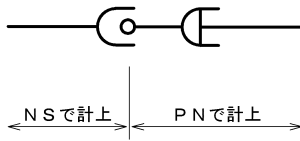
順位	継手種別	i	ii	iii	iv
I	パイプインパイプ工法用継手	PN	P II		
II	耐震継手のうち固定継手	UF			
III	耐震継手	US	GX	NS	TS(S・S II)
IV	非耐震継手	U	K	A	

優先順位の同じ継手が混在する場合は、表の左側を優先とする。ただし、外面塗装が外面耐食塗装でない場合は、GX形として計上しない。

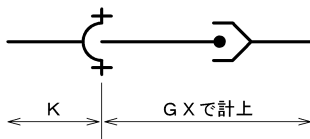
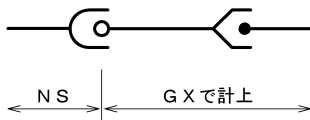
フランジ継手のバルブ等は前後の継手に含めて計上する。前後の継手が異なる場合は、上記優先順位に基づく。

計上例

① パイプインパイプ工法継手の受さし短管

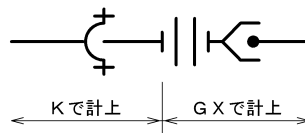


② 継手の混在する管



受口、さし口を問わず、上記優先順位に基づく。
ただし、外面塗装が外面耐食塗装でない場合は、
GX形として計上しない。

③ フランジ継手のバルブ等



前後の継手に含めて計上する。前後の継手が異なる場合は、上記優先順位に基づく。

4 記事欄

工事の施工に関して次に示す内容について簡潔に記入する。

- 1) 工種
- 2) 工事の着手及び完了
- 3) その他必要事項

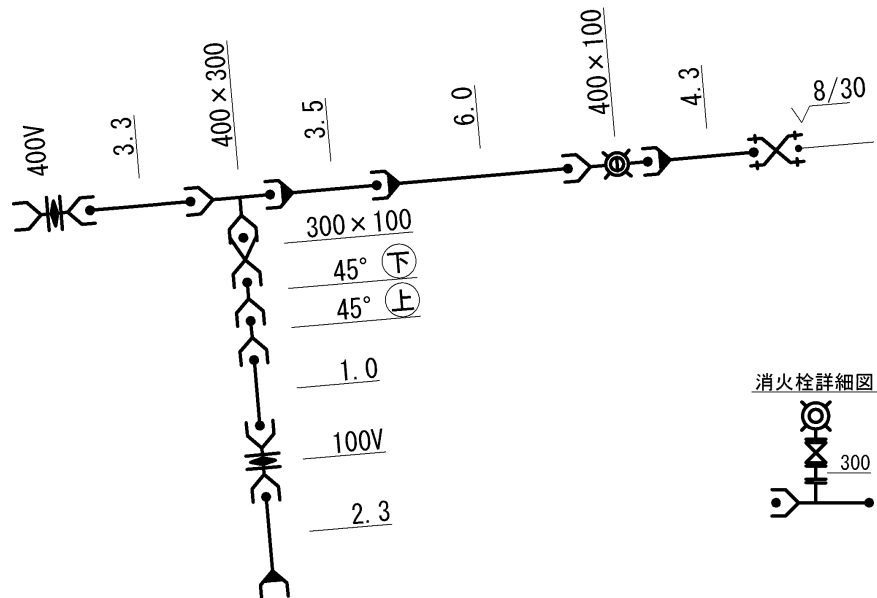
第3節 工事個所図の完成

- 1 工事個所図は当局監督員の指示により作成する。
- 2 当局より支給する設計図の路線全体を記入した図面（位置図）を施工図の工事個所図とする。
- 3 2の工事個所図に、日報施工図の平面的な位置を示す対照番号を記入する。
対照番号は工事個所図と施工図との関連を明確に表示できるように打つこと。
- 4 工事個所図は、表紙の裏に添付する。

第4節 施工図の記入方法

- 1 日報用紙の施工図欄には、「完成図作成基準」第5章 配管記号の管種等表示記号等を用いて、施工図を記入する。
- 2 施工図を記入する際は、「完成図作成基準」第2章 第1節 第3項 第6号に準じ、使用材料の名称を省略する。

材料表示例



1) 次のものは、配管記号のみとする。

仕切弁副管 A 1 号、仕切弁副管 A 2 号、仕切弁副管 B、短管 1 号、短管 2 号、可撓管、継輪、ベローズ、帽、栓、2 F 短管（長さのみ記入）、押輪、補修弁、消火栓、空気弁

2) 施工図の呼び径は、mm を単位として表示する。

3) 施工図には埋設管路に近い公私境界線からの管路の出巾、道路面からの深度を次の基準に従って記入する。

1) 布設管の場合の記入個所

- ① 直線部については、1～2 個所
- ② 布設位置（出巾・深度）が変わるごと

2) 栓・弁類設置個所

3) 既設管の記入個所

- ① 新旧連絡工事個所
- ② 既設管の修理、一部改造した個所（切廻し工事、栓、弁取付個所等）

4) 記入位置

管路が埋設されている側の私有地内で矢印を付け、出巾・深度を記入する。

5) 出巾の表示は数値のみを記入し、深度は H = を付け数値を記入する。いずれも m 以下 1 桁まで表示する。

4) 新設栓弁類等のオフセット図の表示

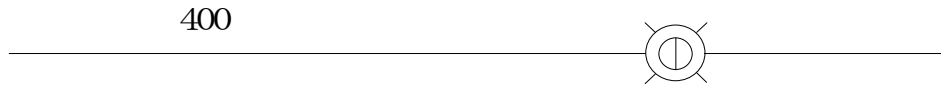
5) 他の埋設物及び構造物等との間隔、特殊個所

6) 既設管と新設管との連絡個所

※ 4、5、6 については、「完成図作成基準」の第 2 章 第 1 節 第 3 項 第 7 号から第 7 項 の該当個所を参照。

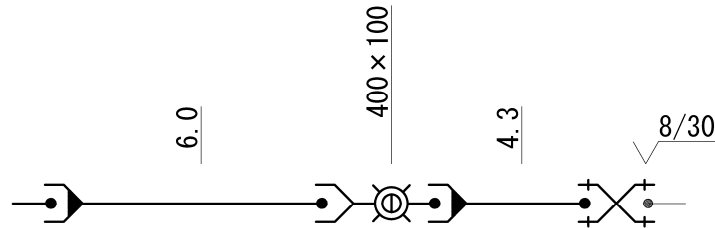
7) 施工図における既設管及び当日布設分等の配水管については、次のように区分する。

1) 前日までの布設分は、ジョイント記号を省略して実線で表示し、呼び径を記入する。



2) 当日の布設分は、配管記号等で表示し、前日の布設と施工境に□を付け施工日を記入する。

(例-1)

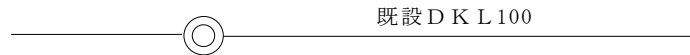


(例-2)

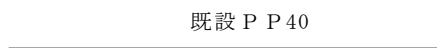


3) 既設管は、実線で表示し、「既設」、管種及び呼び径を記入する。

(例-1)

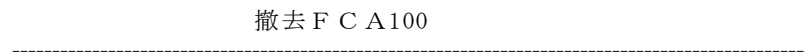


(例-2)



4) 撤去管は、破線で表示し、「撤去」、管種及び呼び径を記入する。

(例-1)

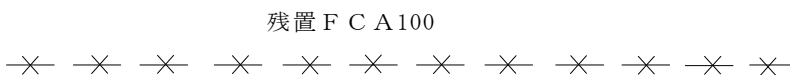


(例-2)

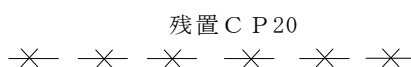


5) 残置管は、破線に×印をして表示し、「残置」、管種及び呼び径を記入する。

(例-1)



(例-2)



8 施工図における道路取付管の表示は、「完成図作成基準」の第2章第3節第3項第7号の該当個所に準ずる。

第5節 残置物件の記入

- 1 管及び附属具類、土留材等を残置した場合は、残置物件の形状寸法（管種、継手、塗覆装、呼び径等）及び埋設位置（出巾、深度）を記入する。
- 2 残置管の閉塞個所及び残置土留材等は、「完成図作成基準」の第2章 第2節 第3項に従ってオフセット図を記入する。

第6節 受注者名の表示

受注者の名称は、日報用紙中央空白欄（二つ折り折り目）に表示する。

第3章 週報作成細則

第1節 記入方法

- 1 週報の工種欄は、設計書の工種ごとに記入する。
- 2 工種は、直接工事費について記載する。
- 3 設計書における1式計上の工種は、%にて記載する。
- 4 使用材料及び撤去・内訳明細欄は、一週間単位ごとに記入する。記入方法等については、第2章 第2節に準ずる。
- 5 配管図欄には、「完成図作成基準」第5章 配管記号の管種等表示記号等を用いて、配管図を記入する。なお、記入方法は第2章 第4節に準ずる。
- 6 工事施工平面図欄には、工事の概略平面図に週間出来高が判別出来るように色分けして記入する。

第2節 その他

週報作成にあたっての詳細については、当局監督員の指示を受けるものとする。

第4章 資料

第1節 工事日報作成用の異形管延長

(1) T字管・十字管・F付T字管・乙字管

① T字管・十字管

(延長単位 m)

呼び径	K		NS		GX		呼び径	K		NS		U・UF	
	主	枝	主	枝	主	枝		主	枝	主	枝	主	枝
75 × 75	0.6	0.1	0.5	0.2	0.4	0.1	800 × 500	1.7	0.7	1.7	0.7	1.8	0.7
100 × 75	0.7	0.2	0.5	0.2	0.4	0.1	800 × 600	1.7	0.7	1.7	0.7	1.8	0.7
100 × 100	0.7	0.2	0.5	0.2	0.5	0.1	800 × 700	1.7	0.7	1.7	0.7	1.8	0.7
150 × 75	0.8	0.2	0.5	0.2	0.5	0.1	800 × 800	1.7	0.7	1.7	0.7	1.8	0.8
150 × 100	0.8	0.2	0.6	0.2	0.5	0.1	900 × 600	1.5	0.7	1.5	0.7	1.6	0.7
150 × 150	0.8	0.2	0.6	0.2	0.6	0.2	900 × 700	1.9	0.8	1.9	0.8	2.0	0.8
200 × 100	0.8	0.2	0.6	0.3	0.5	0.2	900 × 800	1.9	0.8	1.9	0.8	2.0	0.9
200 × 150	0.9	0.3	0.6	0.3	0.6	0.2	900 × 900	1.9	0.8	1.9	0.8	2.0	0.9
200 × 200	0.9	0.3	0.7	0.3	0.6	0.2	1,000 × 600	1.7	0.8	1.7	0.8	1.8	0.8
250 × 100	0.8	0.3	0.6	0.3	0.5	0.2	1,000 × 800	2.0	0.8	2.0	0.8	2.1	0.9
250 × 150	0.8	0.3	0.6	0.3	0.6	0.2	1,000 × 1,000	2.0	0.8	2.0	0.8	2.1	0.9
250 × 250	1.0	0.3	0.7	0.3	0.7	0.2	1,100 × 600	1.7	0.8			1.8	0.8
300 × 100	0.8	0.3	0.4	0.3	0.5	0.2	1,100 × 800	1.8	0.8			1.9	0.9
300 × 150	0.8	0.3	0.5	0.3	0.5	0.2	1,100 × 1,100	2.1	0.9			2.2	1.0
300 × 200	1.0	0.3	0.5	0.3	0.7	0.2	1,350 × 600	1.7	1.0			1.8	1.0
300 × 300	1.0	0.3	0.7	0.2	0.8	0.2	1,350 × 900	2.0	1.0			2.1	1.1
400 × 300	1.2	0.4	0.7	0.3	0.8	0.3	1,350 × 1,350	2.4	1.1			2.5	1.2
400 × 400	1.2	0.4	0.8	0.3	0.9	0.3	1,500 × 600	1.7	1.1			1.8	1.1
500 × 300	1.3	0.5					1,500 × 1,500	2.6	1.2			2.7	1.3
500 × 400			1.3	0.5			1,800 × 1,100	2.2	1.2			2.3	1.3
500 × 500	1.3	0.5	1.3	0.5			1,800 × 1,350	2.5	1.3			2.6	1.4
600 × 400	1.5	0.5	1.5	0.5			1,800 × 1,500	2.6	1.3			2.7	1.4
600 × 500	1.5	0.5	1.5	0.5			1,800 × 1,800	2.9	1.3			3.0	1.4
600 × 600	1.5	0.5	1.5	0.5			2,000 × 1,100	2.2	1.4			2.3	1.5
700 × 400	1.6	0.6					2,000 × 1,350	2.5	1.4			2.6	1.5
700 × 500	1.6	0.6	1.6	0.6			2,000 × 1,500	2.7	1.4			2.8	1.5
700 × 600	1.6	0.6	1.6	0.6			2,000 × 1,800	3.0	1.4			3.1	1.5
700 × 700	1.6	0.6	1.6	0.6			2,000 × 2,000	3.2	1.4			3.3	1.5

② F付T字管

(延長単位:m)

呼び径	K		NS		GX		呼び径	K		NS		U-UF	
	主	枝	主	枝	主	枝		主	枝	主	枝	主	枝
75×75	0.6	0.3	0.5	0.2	0.4	0.2	800×75	0.9	0.5	0.9	0.5	1.0	0.5
100×75	0.7	0.3	0.5	0.2	0.4	0.2	800×100	0.9	0.5	0.9	0.5	1.0	0.5
150×75	0.7	0.3	0.5	0.3	0.5	0.3	800×600	1.7	0.7	1.7	0.7	1.8	0.7
150×100	0.7	0.3	0.6	0.3			900×100	0.9	0.6	0.9	0.6	1.0	0.6
200×75	0.7	0.3	0.6	0.3	0.5	0.3	900×600	1.5	0.7	1.5	0.7	1.6	0.7
200×100	0.7	0.3	0.6	0.3			1,100×150	1.0	0.7			1.1	0.7
250×75	0.7	0.3	0.6	0.3	0.5	0.3	1,100×600	1.7	0.8			1.8	0.8
250×100	0.8	0.3	0.6	0.3			1,200×150	1.0	0.8			1.1	0.8
300×75	0.7	0.4	0.4	0.3	0.5	0.3	1,200×600	1.7	0.9			1.8	0.9
300×100	0.8	0.4	0.4	0.3	0.5	0.3	1,350×150	1.1	0.8			1.2	0.8
400×75	0.8	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	1,350×600	1.7	1.0			1.8	1.0
400×100	0.8	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	1,500×150	1.1	0.9			1.2	0.9
500×75	0.8	0.4	0.8	0.4			1,500×600	1.7	1.1			1.8	1.1
500×100	0.8	0.4	0.8	0.4			1,800×600	1.8	1.2			1.9	1.2
600×75	0.8	0.4	0.8	0.4			2,000×600	1.8	1.3			1.9	1.3
600×100	0.8	0.5	0.8	0.5									
700×75	0.8	0.5	0.8	0.5									
700×100	0.8	0.5	0.8	0.5									

注) 原則、消火栓および空気弁設置時に使用する場合には枝管延長は計上しない。(ただし、設計で延長を計上してある場合は除く。)

③ うず巻式F付T字管

(延長単位:m)

呼び径	K		NS		GX		呼び径	K		NS		GX	
	主	枝	主	枝	主	枝		主	枝	主	枝	主	枝
75×75	0.6	0.3	0.5	0.3	0.6	0.3	250×75	0.7	0.3	0.6	0.3	0.6	0.3
100×75	0.7	0.3	0.5	0.3	0.6	0.3	250×100	0.8	0.3	0.6	0.3		
150×75	0.7	0.3	0.5	0.3	0.6	0.3	300×75	0.7	0.4	0.6	0.4	0.6	0.4
150×100	0.7	0.3	0.6	0.3			300×100	0.8	0.4	0.6	0.4	0.6	0.4
200×75	0.7	0.3	0.6	0.3	0.6	0.3	350×75	0.8	0.4				
200×100	0.7	0.3	0.6	0.3			350×100	0.8	0.4				

注) 原則、消火栓および空気弁設置時に使用する場合には枝管延長は計上しない。(ただし、設計で延長を計上してある場合は除く。)

④ 乙字管

(延長単位:m)

呼び径	NS	GX	呼び径	NS	GX	呼び径	NS
75×300H	0.8	0.8	200×300H	1.0	1.0	350×300H	1.1
75×450H	1.0	1.0	200×450H	1.2	1.2	350×450H	1.2
100×300H	0.8	0.9	250×300H	1.0	1.1		
100×450H	1.0	1.0	250×450H	1.2	1.2		
150×300H	0.9	0.9	300×300H	1.1	1.1		
150×450H	1.1	1.1	300×450H	1.2	1.3		

(2)曲管

(延長単位：m)

度 継手 呼び径	90°				45°				22° 1/2				11° 1/4				5° 5/8				度 継手 呼び径
	K	NS	U UF	GX	K	NS	U UF	GX	K	NS	U UF	GX	K	NS	U UF	GX	K	NS	U UF	GX	
75	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	《0.3》 0.4	0.3	《0.1》 0.4	0.5	《0.2》 0.4	0.3	《0.1》 0.4	0.8	0.4	0.3	0.3		0.4		0.3	75
100	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	《0.3》 0.4	0.3	《0.2》 0.4	0.5	《0.3》 0.4	0.3	《0.1》 0.4	0.8	0.4	0.3	0.4		0.4		0.4	100
150	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	《0.3》 0.4	0.4	《0.2》 0.5	0.6	《0.3》 0.4	0.3	《0.1》 0.4	0.8	0.4	0.3	0.4		0.4		0.4	150
200	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	《0.4》 0.5	0.4	《0.2》 0.5	0.7	《0.3》 0.4	0.3	《0.2》 0.4	1.0	0.5	0.3	0.4		0.5		0.4	200
250	0.9	0.7	0.6	0.7	0.7	《0.4》 0.6	0.5	《0.3》 0.6	0.7	《0.3》 0.5	0.4	《0.2》 0.5	1.0	0.5	0.3	0.4		0.5		0.4	250
300	1.2	0.6	0.7	0.7	0.8	《0.3》 0.5	0.5	《0.3》 0.6	0.7	《0.2》 0.4	0.4	《0.2》 0.5	1.0	0.3	0.3	0.4	1.2	0.3	0.3	0.4	300
350					0.9				0.8												350
400	1.2	0.8	0.9	0.9	1.0	《0.3》 0.6	0.6	《0.3》 0.6	1.0	《0.2》 0.4	0.5	《0.2》 0.5	1.2	0.4	0.4	0.4	1.2	0.3	0.4	0.4	400
500	1.4	1.2			1.1	《0.5》 0.8			1.1	《0.3》 0.8			1.4	0.8			1.4	0.8			500
600	1.6	1.3			1.3	《0.6》 0.9			1.3	《0.4》 0.8			1.4	0.8			1.4	0.8			600
700	1.8	1.5	1.9		1.4	《0.7》 1.0	1.6		1.4	《0.4》 1.0	1.6		1.4	1.0	1.6		1.4	1.0	1.6		700
800	1.9	1.7	2.1		1.6	《0.8》 1.1	1.7		1.6	《0.5》 1.1	1.7		1.4	1.1	1.6		1.4	1.1	1.6		800
900	2.1	2.0	2.2		1.8	《0.9》 1.3	1.9		1.8	《0.5》 1.2	1.9		1.4	1.2	1.6		1.4	1.2	1.6		900
1,100	2.3		2.4		2.1		2.2		2.0		2.2		1.4		1.6		1.4		1.6		1,100
1,200	2.3		2.4		2.1		2.2		2.0		2.2		1.4		1.6		1.4		1.6		1,200
1,350	2.3		2.4		2.1		2.2		2.0		2.2		1.5		1.6		1.5		1.6		1,350
1,500	2.3		2.4		2.1		2.2		2.0		2.2		1.5		1.6		1.5		1.6		1,500
1,800	2.4		2.6		1.6		1.7		1.6		1.7		1.6		1.7		1.6		1.7		1,800
2,000					1.6		1.7		1.6		1.7		1.6		1.7		1.6		1.7		2,000

注 1. GXはφ400以下、NSはφ1000以下、UFはφ700以上

2. 《 》はGX及びNSの両受

(3) 排水T字管・片落管

① 排水T字管

(延長単位 m)

呼び径	K		NS		U・UF		GX		呼び径	K		U・UF	
	主	枝	主	枝	主	枝	主	枝		主	枝	主	枝
200 × 100	0.3	0.2	0.4	0.3					1,100 × 400	0.9	0.7	1.1	0.7
250 × 100	0.4	0.2	0.4	0.3					1,200 × 400	0.9	0.7	1.1	0.7
300 × 100	0.4	0.2	0.3	0.3			0.3	0.3	1,350 × 400	1.0	0.8	1.2	0.8
400 × 150	0.5	0.3	0.4	0.3			0.4	0.3	1,500 × 400	1.0	0.9	1.2	0.9
500 × 200	0.6	0.4	0.6	0.4					1,800 × 400	1.3	1.0	1.5	1.0
600 × 200	0.6	0.4	0.6	0.4					2,000 × 400	1.3	1.1	1.6	1.1
700 × 300	0.7	0.5	0.7	0.5									
800 × 300	0.7	0.5	0.7	0.5	0.9	0.5							
900 × 300	0.7	0.6	0.7	0.6	0.9	0.5							
1000 × 400	0.9	0.6	0.9	0.6	1.1	0.6							

② 片落管

(延長単位 m)

形式 呼び径	受 挿			挿 受			形式 呼び径	受 挿			挿 受		
	K	NS	GX	K	NS	GX		K	NS	U UF	K	NS	U UF
100 × 75	0.6	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	800 × 500	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1
150 × 100	0.6	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	800 × 600	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1
200 × 100	0.6	0.6		0.6	0.6		800 × 700	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2
200 × 150	0.6	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	900 × 500	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1
250 × 100	0.7	0.7		0.7	0.7		900 × 600	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1
250 × 150	0.7	0.6		0.7	0.6		900 × 700	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2
250 × 200	0.7	0.5	0.4	0.7	0.5	0.4	900 × 800	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2
300 × 100	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1,100 × 700	1.2		1.3	1.2		1.3
300 × 150	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	1,100 × 800	1.2		1.3	1.2		1.3
300 × 200	0.7	0.5	0.5	0.7	0.5	0.5	1,100 × 900	1.2		1.3	1.2		1.3
300 × 250	0.7	0.4	0.4	0.7	0.4	0.4	1,200 × 800	1.2		1.3	1.2		1.3
350 × 300	0.7	0.4		0.7	0.4		1,200 × 900	1.3		1.4	1.2		1.3
400 × 150	0.8	0.8		0.8	0.9		1,200 × 1,100	1.3		1.4	1.3		1.4
400 × 200	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	1,350 × 900	1.3		1.4	1.3		1.4
400 × 250	0.8	0.6		0.8	0.7		1,350 × 1,100	1.3		1.4	1.3		1.4
400 × 300	0.8	0.5	0.5	0.8	0.5	0.5	1,350 × 1,200	1.3		1.4	1.3		1.4
500 × 250	0.8	0.8		0.8	0.8		1,500 × 1,100	1.3		1.4	1.3		1.4
500 × 300	0.8	0.8		0.8	0.8		1,500 × 1,200	1.3		1.4	1.3		1.4
500 × 400	0.8	0.8		0.8	0.8		1,800 × 1,350	1.4		1.5			1.5
600 × 300	0.8	0.8		0.8	0.8		1,800 × 1,500	1.4		1.5	1.4		1.5
600 × 400	0.8	0.8		0.8	0.8		2,000 × 1,800	1.4		1.6	1.4		1.5
600 × 500	0.9	0.9		0.8	0.8								
700 × 400	1.1	1.1		1.0	1.1								
700 × 500	1.1	1.1		1.1	1.1								
700 × 600	1.1	1.1		1.1	1.1								

(4) 仕切弁・短管

① 短管

(延長単位 m)

形式 呼び径	1 号				2 号			
	K	NS	U UF	GX	K	NS	U UF	GX
75	0.1	0.2		0.1	0.7	0.4		0.4
100	0.1	0.2		0.1	0.7	0.4		0.4
150	0.1	0.2		0.1	0.7	0.4		0.4
200	0.1	0.2		0.1	0.7	0.4		0.4
250	0.2	0.2		0.1	0.7	0.4		0.5
300	0.2	0.1		0.1	0.7	0.4		0.5
350	0.2	0.1			0.7	0.4		
400	0.2	0.1		0.1	0.8	0.5		0.5
500	0.2	0.2			0.8	0.8		
600	0.3	0.3			0.8	0.8		
700	0.3	0.3			0.8	0.8		
800	0.3	0.3	0.4		0.8	0.8	0.8	
900	0.3	0.3	0.4		0.8	0.8	0.8	
1,100	0.3		0.4		0.8		0.8	
1,200	0.3		0.4		0.8		0.8	
1,350	0.3		0.4		0.8		0.8	
1,500	0.3		0.4		0.8		0.8	
1,800	0.6		0.7		0.9		0.9	
2,000			0.7				0.9	

②仕切弁 (F)、バタフライ弁

(延長単位 m)

形式 呼び径	仕切弁 F	副 管					バタフライ弁 (副弁内蔵)	バタフライ弁 (両受)	
		A1号			A2号			NS	GX
		K	NS	U UF	K U・UF	NS			
50	0.2								
75	0.2								
100	0.3								
125	0.3								
150	0.3								
200	0.3								
250	0.4								
300	0.4						0.3	0.3	
350	0.4								
400	0.5						0.5	0.5	
500	0.5	0.5	0.5		0.8	0.8	0.5		
600	0.6	0.6	0.6		0.9	0.9	0.6		
700	0.6	0.6	0.6		0.9	0.9	0.6		
800	0.7	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	0.7		
900	0.7	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	0.7		
1,100	0.8	0.8		0.9	1.1		0.8		
1,200	0.8	0.9		1.0	1.2		0.8		
1,350	0.9	1.0		1.1	1.3		0.9		
1,500	0.9	1.1		1.2	1.3		0.9		
1,800	1.0	1.2		1.3	1.5		0.9		
2,000		1.2		1.3	1.5		0.9		

ソフトシール仕切弁

(延長単位 m)

形式 呼び径	フランジ形	両受形		受挿し形	
		NS	GX	NS	GX
75	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5
100	0.3	0.2	0.2	0.5	0.5
150	0.3	0.3	0.2	0.6	0.6
200	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6
250	0.4	0.4	0.3	0.7	0.7
300	0.4	0.5	0.4	0.7	0.7
400	0.5	0.6	0.5		

(5)受挿し短管 (延長単位 m)

形式 呼び径	PN-NS PN-S PN-UF
300	0.7
350	0.7
400	0.7
500	0.8
600	0.8
700	1.0
800	1.0
900	1.0
1,000	1.0
1,100	1.0

(6)継ぎ輪の標準胴付寸法

(延長単位 m)

呼び径	NS	GX	呼び径	NS	呼び径	TS
75	0.2	0.2	500	0.3	1,100	0.3
100	0.2	0.2	600	0.3	1,200	0.3
150	0.3	0.2	700	0.3	1,350	0.3
200	0.3	0.3	800	0.3	1,500	0.3
300	0.3	0.3	900	0.3	1,800	0.3
400	0.3	0.3	1,000	0.3	2,000	0.3

第2節 工事日報作成用継手材料

(1) 継手材料

継手 呼び径	印ろう(S)継手			A・K継手				TS継手				NS継手				GX継手				UF・US継手						継手 呼び径				
	鉛	ヤーン	撤去鉛	ボルト				ボルト				ボルト				ボルト				ボルト(押輪用)			ボルト(セット用)							
	kg	kg	kg	寸法		数量	寸法		数量	寸法		数量	寸法		数量	寸法		数量	寸法		数量	寸法		数量						
75	2.5	0.06	1.3	16	×	85	4	16	×	100	4	16	×	100	4	16	×	100	2(4)											75
100	3.5	0.08	1.8	20	×	90	4	20	×	100	4	20	×	100	4	20	×	100	2(4)											100
150	5.0	0.12	2.5	20	×	90	6	20	×	100	6	20	×	100	6	20	×	100	3(6)											150
200	6.0	0.16	3.0	20	×	90	6	20	×	100	6	20	×	100	6	20	×	100	3(6)											200
250	8.0	0.20	4.0	20	×	90	8	20	×	100	8	20	×	100	8	20	×	100	4(8)											250
300	9.5	0.23	4.8	20	×	100	8	20	×	100	8	20	×	100	8	20	×	110	4(8)											300
400	12.5	0.31	6.3	20	×	110	12	20	×	110	12	20	×	110	12	20	×	110	6(12)											400
500	18.0	0.42	9.0	20	×	110	14	20	×	105	14	20	×	125	14															500
600	23.0	0.52	11.0	20	×	120	14	20	×	105	14	20	×	125	14															600
700	29.0	0.62	14.0	24	×	120	16	24	×	125	16	24	×	145	16															700
800	34.0	0.72	17.0	24	×	120	20	24	×	125	20	24	×	145	20							22	×	40	16	24	×	50・65 (75)	9	800
900	40.0	0.82	20.0	30	×	130	20	30	×	140	20	30	×	155	20							22	×	40	16	24	×	50・65 (75)	9	900
1,100	59.0	1.10	29.0	30	×	140	24	30	×	140	24										22	×	40	20	24	×	60・65 (95)	9	1,100	
1,200	68.0	1.25	34.0	30	×	140	28	30	×	140	28										22	×	40	22	24	×	60・65 (95)	9	1,200	
1,350	82.0	1.46	41.0	30	×	150	28	30	×	140	28										22	×	40	22	24	×	60・75 (95)	9	1,350	
1,500	93.0	1.67	46.0	30	×	150	28	30	×	140	28										22	×	40	22	24	×	60・75 (95)	9	1,500	
1,800	120.0	2.10	60.0	30	×	150	34	30	×	155	34										24	×	45	28	24	×	75・75 (120)	9	1,800	
2,000				30	×	160	36	30	×	155	36										24	×	45	30	24	×	75・75 (120)	9	2,000	

注 1 TS形継手の部品

(1) φ75～400は、押輪・ゴム輪・T頭ボルト・ナット・ロックリング・バックアップリング

(2) φ500以上は、押輪・割輪・ゴム輪・ボルト・ナット・ロックリング(結合ピースⅠ・Ⅱ・Ⅲ 調整ボルト)・バックアップリング

2 UF形継手の部品

押輪及び付属品(留め金具用ボルト・留め金具・押輪用ボルト・継棒)ロックリング・セットボルト・ゴム輪

3 A・K・F形継手材料のボルト以外は省略

4 UF・US形継手で、UF形直管用と()内は異形管用。太字はUS形を表す

5 NS形の継輪、帽はTS形(φ100～400)の部品と同じ(押輪・ゴム輪・T頭ボルト・ナット・バックアップリング)

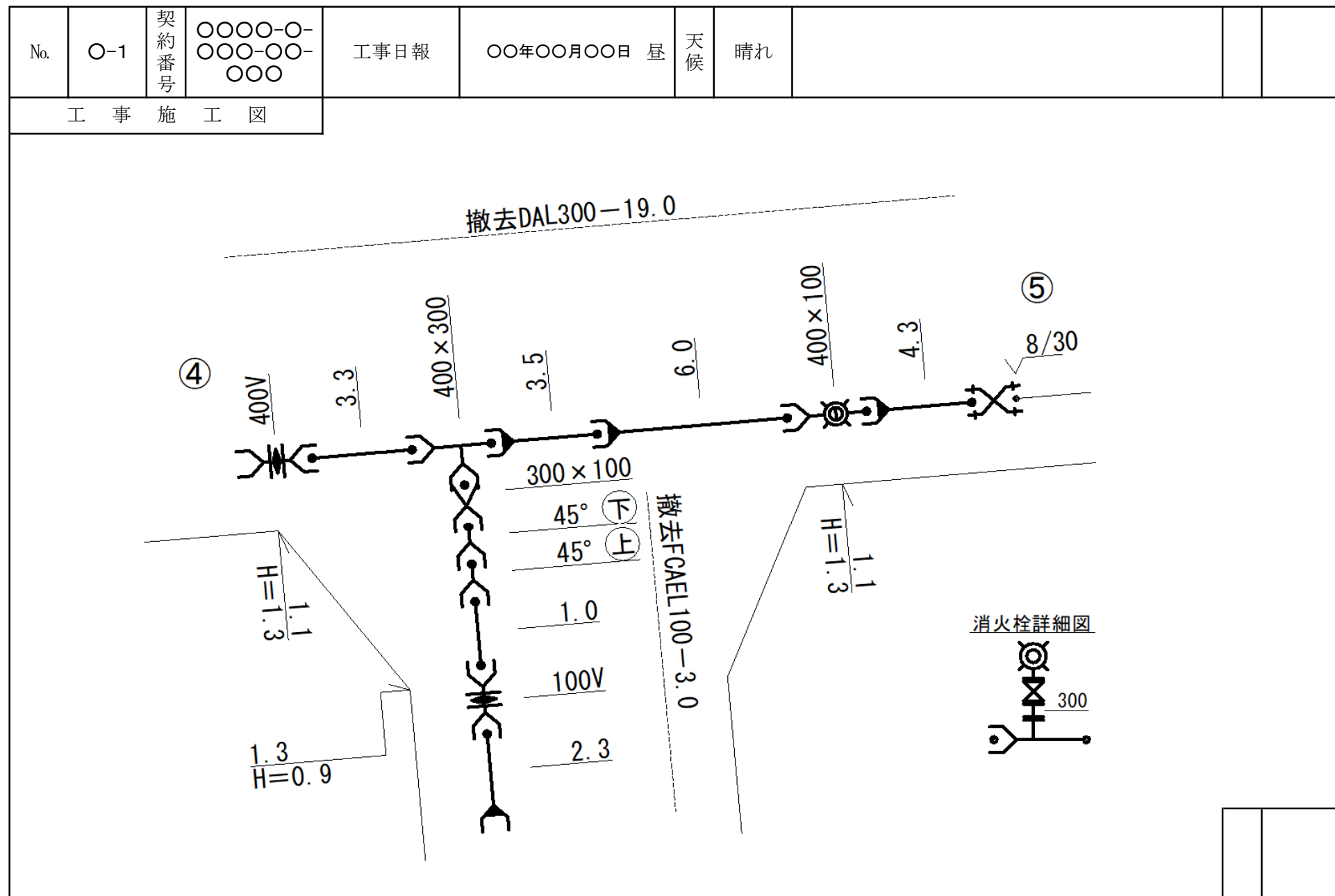
6 GX形の()内は、継手用特殊押輪の場合を表す

(2) フランジ継手材料

継手 呼び径	F(RF)継手・TSF(GF)継手						
	ボルト寸法(L1)			ボルト寸法(L2)			数量
75	16	×	75	16	×	75	4
100	16	×	75	16	×	75	4
150	16	×	75	16	×	75	6
200	16	×	80	16	×	80	8
300	20	×	85	20	×	90	10
400	22	×	95	22	×	95	12
500	24	×	100	24	×	110	12
600	24	×	100(120)	24	×	120	16
700	30	×	110	30	×	130	16
800	30	×	120	30	×	130	20
900	30	×	120	30	×	140	20
1,100	30	×	130	30	×	150	24
1200	30	×	140	30	×	160	28
1,350	36	×	150	36	×	170	28
1,500	36	×	150	36	×	180	32
1,800	36	×	160	—			44
2,000	42	×	170	—			48

- 注 1 L1寸法は、RF形-RF形又はRF形-GF形フランジを接続する場合に使用する。
- 2 L2寸法は、RF形又はGF形フランジと水道用仕切弁（JIS B 2062）を接続する場合に使用する。
- 3 呼び径600のL1寸法の（ ）は、RF形又はGF形フランジと人孔ふたを接続する場合に使用する。

日報記載例 1



受注者名称

使用材料及び撤去・残置内訳明細					使用材料及び撤去・残置内訳明細								
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	名称	形状寸法	単位	数量	摘要				
新設					接合材料(GX押輪)	300	個	1					
DGXE直管	400×6.0	本	1		接合材料(GX押輪)	100	個	5					
DGXE乙切管	400×3.3	本	1	① 使用 残甲2.7	接合材料(GX特殊押輪)	400	個	2					
DGXE乙切管	100×1.0	本	1	② 直切 残甲3.0	GXライナ	400	個	3					
DGXE甲切管	400×3.5	本	1	② 直切 残乙2.5	GXライナ	100	個	1					
DGXE甲切管	400×4.3	本	1	③ 直切 残乙1.7	GX挿しロリング	400	個	3					
DGXE甲切管	100×2.3	本	1	② 使用 残乙0.7									
DGXE二受T字管	400×300	個	1		継手	GX	GX	GX	TSF				
DGXE挿し受片落管	300×100	個	1			400 mm 8口	300 mm 1口	100 mm 5口	100 mm 3口				
DGXE曲管	100×45°	個	2			mm 口	mm 口	mm 口	mm 口				
DGXE-F付T字管	400×100	個	1			出来高延長(m)							
DGXE継ぎ輪	400	個	1			呼び径	前日迄	当日分	累計	呼び径	前日迄	当日分	累計
DE2F短管	100×300	個	1		DGXE400		56.5	19.2	75.7				
ソフトシール仕切弁(GX両受)	400	個	1		DGXE300			1.0	1.0				
ソフトシール仕切弁(GX両受)	100	個	1		DGXE100			4.3	4.3				
補修弁	100	個	1		道路取付管PP40			1.0	1.0				
消火栓	双口(H)	個	1		道路取付管PP25			2.1	2.1				
道路取付管	PP40	m	1.0		道路取付管PP20			2.0	2.0				
道路取付管	PP25	m	2.1		撤去DAL300		57.0	19.0	76.0				
道路取付管	PP20	m	2.0		撤去FCA100			3.0	3.0				
ソフトシール仕切弁鉄ふた	丙	組	1										
ソフトシール仕切弁鉄ふた	丁	組	1										
消火栓鉄ふた	双口	組	1										
接合材料(GX押輪)	400	個	3		記事	400・100耗布設工、仕切弁(400・100)・消火栓(双口)設置							

No.1 / 3

工 事 週 報																						自 年 月 日			至 年 月 日														
工期 自 至		年 年		月 月		日 日		契約番号			件名						受注者名 現場代理人																						
工種・出来高		設計 数量		単位		日		月		火		水		木		金		土		週 間 出 来 高		前 回 出 来 高		出 来 高 累 計		日・天候		週 間 出 来 高		前 回 出 来 高		出 来 高 累 計							
																																		工 種		設計 数量		単位	
(1) 管工事																						(5) 仮設工事																	
鉄管布設工 1100				m																																			
K継手接合工1100				口																																			
鉄管切断工 1100				個所																																			
.....																																							
.....																																							
(2) 推進工																						(6) 路面工事																	
管内掘削工 1100				%																																			
坑内作業工 1100				%																																			
.....																																							
.....																																							
(3) 防護工事																						(7) 附帯工事																	
鉄管防護工				%																																			
(4) 土工事																						下水道調査工																	
掘削工 (人力)				%																																			
掘削工 (機械)				%																																			
埋戻工 (機械)				%																																			
運搬工				%																																			
.....																																							
.....																																							

(設計書の1式計上は%で記入する)

※共通仮設工事以下は記載しない。

No.3 / 3

工 事 週 報				自 年 月 日							
				至 年 月 日							
工期 自 年 月 日 至 年 月 日		契約番号	件名				受注者名 現場代理人				
<p><工事施工平面図></p> <p>※工事概略の平面図に週間出来高が判明出来るように色分けして記入すること。</p>											